2012年(平成24年)8月9日(木曜日)
丹波新聞

7組に「田舎力大賞」

丹波JC 五輪めざす畑田3姉妹ら

「田舎力大賞」を受ける人達＝ポップアップホールで

ふるさとを愛し、夢を追いかけている人たちを顕彰しようと、丹波青年会議所（藤田瑞夫理事長）が「田舎力（りき）大賞」を創設、4日、ポップアップホールで授賞式を行い、7組を表彰した。藤田理事長は「情熱を持って活動し、人間力あふれる人たちがおられるのが、丹波の底力の証明」と、被表彰者をたたえていた。

モーグルの各種大会で好成績をあげ、冬季オリンピック出場をめざしている青垣町の畑田繭さん（京都共栄学園高校3年）、萌香（もか）さん（福知山成美高校1年）、森夢（りむ）さん（芦田小学校5年）の3姉妹も同賞を受賞。ステージに上がった3姉妹は、出席者を前に「モーグルの上村愛子さんはあこがれであり、乗り越えるべき目標」（繭さん）、「私たち3姉妹は冬季オリンピックの金メダルをめざしています」（萌香さん）などと話し、喝采を受けていた。

県大会で8回優勝し、全国大会にも出場している氷上西ミニバスケットボール教室も受賞した。監督の長久博志さんは「練習中、集中していない子どもはコートから出てもらっている。自分たちで考えるバスケットをめざしている」と、チームの方針を紹介。ステージに上がった選手たちに、出席者は激励の拍手を送っていた。

このほかの受賞者は、▽不登校・ひきこもりコンサルタントの中川広佳さん（柏原町）▽「元気村かどの」の初代会長で、かどのの郷の人気メニュー「たまごかけご飯」を提案した十倉孝實さん（氷上町）▽花いっぱいの地域づくりを進めている「下町沖田区花の会」（柏原町）▽都市との農業体験交流を進めている「のんびり楽農クラブ」（春日町）▽柏原でシカ肉料理店などを営む鴻谷佳彦さん（青垣町）。

2012年(平成24年)8月5日 日曜日
神戸新聞

不登校の支援、自然保護活動…

市民の挑戦にエール

第1回丹波市田舎力大賞 7組決まる

丹波市のさまざまな分野で挑戦を続ける人や団体を表彰する「第1回丹波市田舎力（いなかりき）大賞」が4日、同市氷上町本郷のポップアップホールで発表された。選ばれたのは、不登校の子どもらを支援する男性、自然保護を続ける住民グループ、スポーツ教室など7組。受賞者はこれまでの活動を振り返り、さらなる活躍を誓っていた。（森 信弘）

「田舎」である丹波市を愛し、頑張っている人たちを応援しようと丹波青年会議所（JC）が企画した。応募に年齢制限はなく、丹波市在住が条件。受賞枠7組に対し、自薦や他薦で7組の応募があり、審査の結果、全員が合格した。

会場では、受賞者がステージに登り、それぞれ活動を紹介。「不登校・ひきこもりコンサルタント」中川広佳さん(30)は、同市内で中学生約50人が不登校で、ひきこもりは約300人超いると話し、「しかるべきサポートがあれば、立ち上がる姿を見てきた。子どもたちの力を信じて活動を続けたい」と語った。音楽活動にも力を入れており、ギターでオリジナル曲も披露した。

このほかの受賞者は、丹波市氷上町葛野地区の休養施設「やすら樹」総支配人、十倉孝實さん(76)▽氷上西ミニバスケットボール教室▽自然保護の住民グループ「下町沖田区花の会」▽フリースタイルスキー・モーグルで活躍する畑田繭さん(17)、萌香さん(15)、森夢さん(10)の3姉妹▽都市と農村の交流に取り組む「のんびり楽農クラブ」▽シカ肉料理店「無鹿」の運営会社代表、鴻谷佳彦さん(34)―。

田舎力大賞を受賞した7組＝ポップアップホール